

3・11 午後2時46分から一年

東日本大震災

陸に乗り上げた漁船（岩手県宮古市）



三陸沖を震源とするマグニチュード9.0、千年に一度といわれる巨大地震が東日本一帯を襲いました。それから間もなく、高さ20メートルを超える大津波が、防潮堤を超え、木々をなぎ倒し、黒色の波が故郷を飲み込みました。人々は、そのあまりにも日常からかけ離れた光景に、自然の力の大きさを改めて思い知ることなつたのです。死者15,845名、行方不明者3,339名。（平成24年2月1日現在）日本中の人々が深い悲しみに包まれたと同時に、被災地と同じように沿岸沿いで営みを続ける私たちに余りにも大きな出来事であつたのではないでしようか。優しい春の風が吹く3月、決して忘れることのできない、忘れてはいけないあの日から、もうすぐ一年を迎えます。本号では、様々な場面で撮影された写真から被災状況を振り返ります。



様々な想いが込められ被災地へと届く

岩手県宮古市田老地区で活動する陸上自衛隊留萌駐屯地の隊員



岩手県野田村では、全村民心をついに復興を進めています。

岩手県野田村の被害状況



市民の皆さんへのお知らせ

留萌市では、平成24年3月11日（日）午後2時46分、1年前の東日本大震災によって犠牲になられた方々を慰霊するとともに、東北の復興まちづくりを願ひまして、消防サイレンを1分間吹鳴いたします。市民の皆さんにおかれましては、黙祷をお願いいたします。

市民キャンドルナイトの開催

留萌市では、倉本聡さん、加藤登紀子さんなどが呼びかけ人として全国各地域で実施されます「100万人のキャンドルナイト」に賛同して、東日本大震災から1年をむかえる2012年3月11日に「市民キャンドルナイト」を開催します。是非、ご来場ください。

日時：3月11日（日）午後5時から
場所：海のふるさと館

